
カービィは砂漠を旅するようです

砂漠の饅頭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カービイは砂漠を旅するようです

【Nコード】

N1145G

【作者名】

砂漠の饅頭

【あらすじ】

彼は何故、砂漠を旅するのか。彼は何故、苦痛にも耐えるのか。
……それは、誰にも分からない。

序章：一人の旅人

「暑い……。はあ、何でこんなに暑いんだろう」

溜息を吐いた後、とぼとぼと砂漠を歩く。汗が噴出すかのように流れ出て、喉はからからに渴いていた。

太陽の光を体中に浴びながら、下を向いていた頭を、起こして目の前を見据える。

見渡す限り、砂しか存在していない。陥没した砂地、膨れ上がり、山のように聳え立つ（そびえたつ）砂丘。

何処まで行っても、この砂漠からは逃れられないのだろうか。

果たして、この広大な砂漠に出口はあるのだろうか。

そんな事を考えながらも、彼の足は一步一步、確実に前へと進んでいく。

「あー……。やっぱり、暑い。この暑さにだけは、耐えられるとは思えないね……」

ぼつりと、独り言を漏らす。それを聞く者は傍にはおらず、ふと孤独感が襲う。

それを振り払うようにして首を振ると、足取りを速めながらも歩き続ける。

果たして、この先には何があるのか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1145g/>

カービィは砂漠を旅するようです

2010年10月9日02時57分発行